

- (1) 無線カメラを使用する参加者が多いと思いますが、部屋の壁の影響や見学者の発する電波により通信ができない参加者が多い場合は、何らかの救済措置があるのでしょうか？

→仕切りの素材：スチールフラッシュドア 仕切りの厚さ：70mm
壁の端は1000mm程空いています。

- (2) 無線カメラやPC, ディスプレイ等の内蔵のバッテリーで、リチウムイオン二次電池を使用して良いでしょうか？

→課題をクリアするための機器や規則の適用範囲を超える場合については、その旨提出書類に記載してください。

- (3) 障害物や工具、熱源は試合開始時点の状態(位置・温度)を記入するのか、試合終了時点の状態を記入するのかどちらでしょうか？

→開始時点の位置を記入してください。障害物を故意に移動しないでください。
また、温度を計測する際は、競技エリアにいるスタッフが同時に計測を行います。

- (4) 熱源の温度測定について、測定誤差は何度まで許容されるのでしょうか？

→ $\pm 3^{\circ}\text{C}$ となります。

- (5) ゴールが完了したと判定する基準を教えてください。

ロボットの接地点(上空含む部品?)が全てスタートエリアに入り、かつ地図の記入が完了した瞬間という認識でよろしいでしょうか？

→ロボット全体がスタートエリアに戻った状態がゴールとなります。

- (5) ロボットがフィールドを探索したのち、スタート台に戻ってから手元の地図に記入しても良いでしょうか？

→ゴール後、ロボットはフィールド進入はできませんが、記入する事は可能です。

- (7) ゴール後、勢い余って落下した場合はゴールとして認められるのでしょうか？

また、ゴール後に勢い余って落下した場合は減点されるのでしょうか？

→ゴール後は減点となりません。

- (8) 競技中にロボットが落下した場合は下記のどの対応になるのでしょうか？

- ・競技終了
- ・自力で復帰すれば再開
- ・操縦者以外の人による救出作業

・その他の場合は教えていただけると助かります

→操縦エリアにスタッフがいるので救済処置を申告してください。

申告後、競技エリアにいるスタッフがロボットを落下した場所に近いリング上に設置します。

(9)減点項目の「絡まりなど救出」は誰が行うのでしょうか？

→競技エリアにいるスタッフが行います。

(10)「絡まりなど救出」は誰が判断し、どのような方法で操縦者とロボットの近くにいる人の連絡を行うのでしょうか？

また、ロボットから煙が出ている等の危険な状態で審判が停止させることもあるかと思いますが、その場合の状況を操縦者に連絡する手段を教えてください。

→操縦エリアと競技エリアにスタッフがいるのでトランシーバー等で連絡をとり、操縦者に伝えた後、競技エリアにいるスタッフが救出を行います。

(11)記入例のゴムマットはW7にも接地していますが、W2,6のみの回答で得点になるのでしょうか？

W7を記載する必要がない場合、不要と判断できる基準を教えてください。

→当日は、はみ出さないよう設置します。

(12)全ての接地点がライン上にある工具や熱源の座標はどのように地図に記載すればよいのでしょうか？

→ライン上には設置せず、枠内に設置します。

(13)各リングへの入場が完了したと判定する条件を教えてください。

→ロボットの最後尾が各リングを通過した時点となります。

(14)「課題をクリアするための機器や規則の適用範囲を超える場合については、その旨提出書類に記載すること」とありますが、

下記の方法が可能か、可能な場合は減点の程度を教えていただけると助かります。

(a)Futaba ロゴマークの入っていない無線機器の使用 →記載してください。

(b)複数の無線機器の使用 →記載してください。

(c)機体の重量が3300g以上(5000g程度) →記載してください。

(d)ラジコン用信号で動作しないサーボモータ(小型ロボット用)の使用 →記載してください。

(e)スタート時の寸法が第3章9条の寸法より大きい →記載してください。

(f) 展開後のロボットがスタートエリアに入らない大きさかつ、自力で元の寸法に戻れない場合 →ゴール時には、スタートエリア内を通過してください。

(g) ロボットの飛行 →第23回かわさきロボット競技大会バトルロボット部門競技規則に準ずるものとする。課題をクリアするための機器や規則の適用範囲を超える場合には、その旨提出書類に記載すること。

(h) フィールドの汚染（故意の染色等） →禁止（競技規則に準じていないため）

(i) 障害物や工具を移動させる行動 →故意の移動は禁止

(j) 障害物や工具をリングから落下させる行動 →禁止

(k) ロボットの故意の分離 →禁止（競技規則に準じていないため）

(l) ロボットにアームがない、もしくはアームの高さが200mmを超えない場合 →禁止（競技規則に準じていないため）

(m) 複数の操縦者による課題の達成 →禁止（競技規則に準じていないため）